

佐賀県鹿島市 *Press release*

報道機関 各位

部課名

企画財政課

件名	「地域とつながる高校魅力づくりプロジェクト」について
アピールポイント	少子化が進行するなか、地方においては東京圏をはじめ、都市部へ若者が流出しているが、そのきっかけは、 (1)高校卒業後の進学、就職 (2)大学卒業後の就職 (3)結婚 以上の3要素と言われている。将来的に生産年齢の人口減少が予想されるが、少しでも鹿島市内の高校生が地域活性化への取組や地域資源の豊かさを理解するとともに、既に地域で活躍している人材と交わるなど教育環境の向上を図ることで、地域を愛する心を育み、魅力と活力ある高校づくりを目指し、今年度から3ヶ年の計画でスタートする。
説明口	上記の趣旨から、鹿島高校と鹿島市が連携し、1年目においては以下の取組みを行った。 件名 地域とつながる高校魅力づくりプロジェクト(鹿島市職員からの講義) 実施日 令和元年10月25日(金)、11月1日(金) 対象生徒 佐賀県立鹿島高等学校1年生 252名 講義内容 鹿島市から見る7つの分野について鹿島市職員7名が講義を実施。 ①地域・経済②国際関連③医療・福祉④環境・生活⑤社会・文化 ⑥科学技術⑦食 講義時間 10月25日及び11月1日 6限目14時25分～15時15分、7限目15時30分～16時20分 参考 ①1回の講座で2コマ(1コマ40分～45分) ②2回の講座とも同一講師、同一内容 ③鹿島高校赤門学舎 1年教室と特別教室を利用 受講した生徒からのアンケート結果を別添のとおり公表する。
別添資料	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

本件に関する問合せ先

所属	企画財政課
氏名	納塚真琴
TEL	0954-63-2101
FAX	0954-63-2129
Mail	makoto-noutsuka@city.saga-kashima.lg.jp



地域とつながる高校魅力プロジェクトについて(令和元10/25、11/1)

【佐賀県立鹿島高等学校】



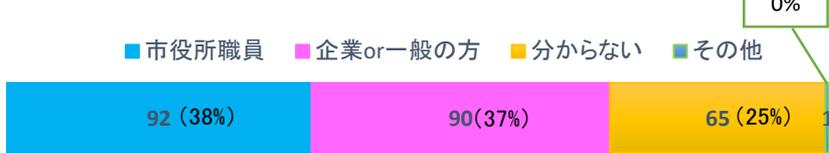
アンケートの結果は以下のとおりでした

※受講者数244名と回答者数は一致しない

1. 各講師による説明は理解できましたか。



2. どのような講師を望みますか。



生徒の声

> 歴史ある鹿島高校で学んでいることに誇りを持った。来鹿している多くのインバウンド増加に対応するため、グローバル力をつける必要性を感じた

> 聞くにつれてもっと知りたいと思った。数字で説明を受け、どの様に解決すべきか楽しい4時間だった

> 楽しみながら聞いた。将来どのような道に進むのか考える良いきっかけとなった。このような講義を今後も継続して欲しい

> インバウンドの増加などプラス面がある一方、若者減少や干潟の環境破壊など多くの課題があることを実感した

> 医療制度や介護制度など福祉の話聞くことで、改めて「税」の必要性、大切さを学んだ

> 全ての講座を聞きたかった。市内企業や一般の方々からも聞きたいと思った。自分のためになる講座だった

> このプロジェクト講義を受講し、鹿島の課題が見える気がする。県外に就職したいと思っているが、自分の地元の発展にも携わりたいと思った

> 鹿島の伝統など、後の世代に繋げていく必要を知った。課題や解決方法に自分が出来ることを行っていきたいと思った

> 社会問題の一つである「少子高齢化」がコンビニの営業時間短縮にも絡んでいることに驚いた

> 課題解決に向け我々も協力する必要があると感じ、若い世代が鹿島の良さを広める必要があると思った

> 鹿島高校の歴史、鹿島城の話に興味を沸き、ここで学んでいることに誇りを感じた

> 地元の人口が今後大幅に減るという資料を見て危機感を抱き、地元に残る就職活動を展開して行きたい

> 伝統的な文化、歴史がある一方、洪水が起こりやすい地域であることから対策の必要性を理解できた

> これからの鹿島をどうしていきたいのか、どうすべきかを調べ、理解を深めたいと思った

> 魅力あるものを生かしていくことは簡単ではないが、逆に考えていくことは楽しかった

> 我々ができることや課題が見つかった。これらを確実にやっていくことが大事で、必ず実践していきたい

> 鹿島の魅力を的確にくみ取り、誰にでも伝わるように、具現化されたらいいなと感じた

> 受講した講義には全て共通点がある。最終的に全て繋がっていると思った

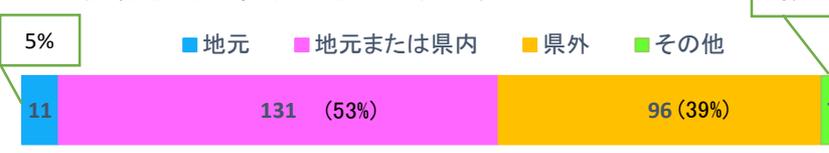
> ラムサール条約、文化遺産、伝統芸能など未来へ繋いでいく必要性を学んだ。今後もこんな授業を望む

> 特産物、インバウンドなど知っているようで知らなかった自分に気づいた。分かり易く楽しい講義だった。自分たちに何が出来るのか考えていきたい

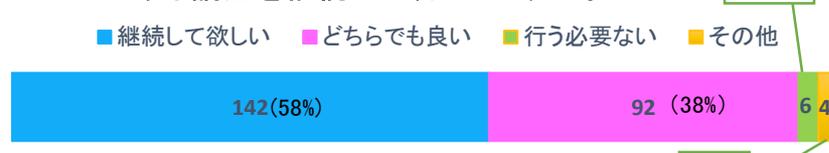
> 文化財、特産品、インバウンドなど多くの知らないことを学び更に鹿島を好きになった。楽しい授業だった

> 鹿島の欠点を聞いて「たしかに」と思う点があった。今後、若者の声が必要ではないかと思った

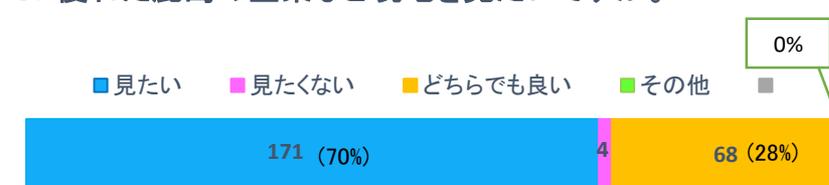
3. 就職したい場所はどこですか。



4. このような講座を継続して欲しいですか。



5. 優れた鹿島の企業など現地を見たいですか。



2%